

24H シートとユニットケアについて

介護業務は未だ発展途上のため色々な人が色々なことを言っております。
全老健の月刊雑誌 11月号に表記のことが載っております。

そこには、ユニットケアとユニット型施設とは違うと言うことを皆さん理解していないとありました。私も同じ線状のものだと思っておりました。しかし読んでみると私達にも大いに関係がありそうだということで、その一端をお話致します。

私達は“利用者のニーズを把握して”というのが定番ですがその陰には介護する側の都合がしばしば入り込んでしまうということが有ると言います。なるべく純粋にご本人のニーズを把握する方法は従来のケアプランよりも24Hシートの方がよいという意見があります。

一般的に言って、私達の老健の特徴は多職種がそろっていて多職種協働が特徴です、と常にお話ししております。そして在宅復帰・在宅支援が主目的であり、ご本人・ご家族の尊厳・安心・満足そして希望と負担軽減のために可能ならば入退所を適切に行ながらその延長線上に看取り対応があるともお話ししております。そしてそのためにショートステイ・ロングステイ・通りハ・訪看・居宅支援、等当館の業務があります。

当たり前のことですが、私達の理想は個別ケアでありご本人の希望が第1と常々言っております。ご本人ご家族のニーズのもとにケアプランを作成しております。しかし実はその中に本人から見たニーズではなく職員から見たニーズが現状では入り易いと言います。そして入浴・排泄・食事の介護など一斉にとりかかり早く終わらせるケアが現実には行われていることに気づきます。それは職員の心の余裕をなくし目先の業務で一杯で職員の自立や自律的行動を損ねやすくなります。でも私達の目標には職員の業務のやりがい・生活の生きがいも含まれています。従来のやり方を改めて見直す価値があるようです。

ユニットケアはなにも個室がなくても出来るものだとその方は言っております。そのきっかけを作ってくれるのが24Hシートと従来のケアプラン表の違いと言います。そして特養だけでなく老健にもぴったりの方法とのことです。24Hシートは今すぐ当館に適應されるものではありませんが頭の隅に置く価値のある方法のようです。

改めて、当館の理念と基本方針を見直しましょう。

老人保健施設一羊館の理念
利用者の方々すべてに尊厳・安心・満足を！

一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。
私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。
私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

